



料金別納  
郵便



神田女学園同窓会

第26号 2020.9.20

発行	神田女学園 竹水会(ちくすいかい)
事務局	〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町2丁目3番6号
TEL	03(6383)3751
FAX	03(3233)1890
印刷	株式会社アイト

# 竹水通信

## 創立130周年を迎えて



平成20年3月に竣工した新校舎



令和2年夏にリニューアルしたエントランス・講堂入口



退任のご挨拶

前会長 伊原 三枝子

卒業生の皆様 お健やかに過ごしてはいかがでしょうか。新しい元号を迎え記念すべきオリンピックキヤーで盛り上がるはずでしたが世界初の「新型コロナウイルス」の感染拡大により日常生活も儘ならず、不安な日々が続いております。一人一人の心がけで不要不急の外出は控え、手洗いうがい、マスクの着用など感染防止に努めて参りましょう。

今年、母校は創立130周年を迎えました。竹水会の皆さまと学園関係者の皆様と共にお慶び申し上げますと存じます。母校は、明治23年(1890年)に神田仲猿樂町(現西神田)にて産声を上げました。初代校長竹澤里先生の建学の精神は現在まで受け継がれております。

日本は今年終戦から75年が経ち多種多様な生活スタイルの文化が確立され個々の自覚と責任が求められています。しかし、いつの時代でも人が人として生きるためには思いやる心、即ち「恕」が大切です。恕の精神は、時代が移り変わっても忘れてはならないものだと思えます。

ところで本来でございましたら皆様には母校の教育環境の設備及び教育研究の推進支援目的・並びに創立130周年記念の「設備充実資金」の寄付のご協力をお願いするところでした。しかしこの様なコロナ禍の大変な状況下にあつて寄付のお願いは甚だ心苦しいこととございますので、常任幹事会の決議を経て記念事業等積立金より200万円を母校に寄付をさせていただきますことになりました。卒業生皆様の温かいお気持ちとして母校にお渡しを致します。何とぞご理解をお願い申し上げます。

さて母校は130周年を迎えるなか「伝統はたゆまぬ革新とともに」をテーマに高橋理事長、宗像校長のもと最新の学校教育を導入しております。ご家族ご親戚・お知り合いの方へご紹介いただければ幸いです。

私は2012年より8年間、会長を務めさせて頂きました。皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

これからも竹内喜代美新会長のもと同窓生の縦と横の絆を一層深めて竹水会を盛り上げて参りましょう。一人一人のお力添えがやがて大きな大輪となります。ご協力賜りますようお願い申し上げます。

母校の益々の発展と、皆様のご多幸を祈念申し上げます。

## 創立130周年を迎えて

学校法人神田女学園 理事長 高橋 順子



神田女学園の長き歴史を振り返ると、実に様々な苦難があり、そして教職員の努力、奮闘があります。その詳しい内容についてはまもなく発刊される記念誌を読んでいただければご理解いただけると思いますので、ここでは私が本校に教諭として採用されてから今日にいたる約20年間の歩みとこれからの神田女学園について書いてみたいと思います。

私が英語科教諭として本校に着任した当時、本校は生活指導中心の学校から脱して授業点検の実施、生活指導ルール見直しなどを経て、生徒に確かな学力を保證できる学校として生まれ変わろうとしていました。

そしてこの目標に従って特別進学クラスの設置、主要3教科の習熟度別クラスでの学習、進路指導の充実、アメリカ・オーストラリアなどでの海外語学研修が始まりました。当時の教職員は改革の意義を理解してとても頑張ったと思いますし、生徒の皆さんも素直な人が多く、教員の指導によくついて来てくれました。その後、私は校長としてさらに外国語教育に力を入れて、第2外国語として中国語、韓国語、フランス語を導入し、生徒が自分の意思で外国人講師から自由に外国語を学べる空間・K-SALCも本校2階に造りました。

また、高大接続の必要性が唱えられる社会情勢を受けて順天堂大学、神田外国語大学と提携し指定校推薦制度をはじめとした様々な交流が進んでいます。

さらに2年前に宗像諭氏を副校長としてお迎えし、現在は校長としてリベラルアーツを中心に据えた21世紀型の教育を展開していただいております。学校生活の様々な場面で積極的に行動し社会のため周りのために活躍できる明るい女子生徒が育っていると思います。

卒業生の皆さんとは姫竹祭や卒業5年の会、20年の会でお会いして、皆さんが家庭や地域や職場で活躍されている様子を見聞きし、ほんとうにうれしく感じております。

卒業生の皆さんの健康とお幸せを心よりお祈りすると同時に今後とも変わらぬご支援をお願いいたします。

## 創立130周年を迎えて

神田女学園中学校高等学校 第14代学長 宗像 諭



創立130周年を迎えるにあたり、節目の年に重職を拝命いただいておりますこと、諸先輩方のご指導をいただいておりますこと、特に「竹水会」のみなさまには、着任当初より本校の伝統や文化、様々な取り組みの歴史などを指導いただき、感謝申し上げます。

本校は、高橋理事長・前校長時代に、次世代を見据えた様々な改革を行い、その芽が息吹くのを待っていました。グローバル教育や外国語教育などの取り組みは、「種をまくこと」に他なりません。そうであれば、諸先輩方が取り組んでこられた130年にわたる伝統は、「良質な土」を作っていたのだと思います。「花」を咲かせるには、「種」だけでなく、「良土」が必要です。「竹水会」のみなさまの不断の努力があったからこそ、今をお任せいただいている私たちが、「花」を咲かせることができていると改めて感じております。

もちろん「花」だけでなく、素晴らしい「竹」が育つ場所には、清らかな「水」も必要です。その2つを持つ本校は、さらなる成長を遂げ、次世代に伸びていく、確かな手ごたえがあります。それゆえ、「次なる革新」として、グローバル教育を展覧させ、教科の枠を超えた学びと言語の運用能力を高める学びを強化しています。それを具体化した「ダブルディプロマプログラム」(現地校と本校の2つの卒業資格を得る)には、大変高い関心をいただいております。また、伝統の女子教育校だからこそ、広い教養や行動規範などを身につけるための生徒主体の学校生活では、大変活気ある学園となっております。さらに、「ジブンのドラマをデザインする」「ジョシだから挑戦するドラマがある」というコンセプトのもと、新コース・クラスの設定で次世代の教育を本格化しております。

これからも、良質な「土」である本校の伝統と豊富な「水」である諸先輩方の教え、オモイの「芽」を受けて、まっすぐと伸びるように、神田女学園らしい「花」を咲かせられるよう、本校の伝統をしっかりと根付かせてまいります。

## 創立130周年を迎えて

副校長 荻澤 康宏



私は神田女学園中学校高等学校にお世話になって1年半になります。あらためて生徒の成長に関わる仕事に携わることによる充実感、満足感を日々感じております。

さて、130年の伝統のもと、これまで積み重ねてきたものの上に立ち、本学は新たなステージに向けて進化しようとしています。先行き不透明な世の中で、自分を見失わず、しっかりと地に足を付けて生き抜いていく力を身に付けて世界に羽ばたいていける生徒の育成を私なりに「7つの資質」と位置づけ、常に意識して生徒達と関わっています。「7つの資質」とは以下の7つを指します。

1. 内省できる
2. 創造力がある
3. 共感力がある
4. 前向きで向上心がある
5. 論理的思考ができる
6. 国際感覚が優れている
7. 語学力がある

この中で、私は1の「内省できる」が最も重要な資質ではないかと考えています。人は誰でも自分にとって都合の悪いことは他人や環境などのせいにしてがちです。しかし、その姿勢のままでは人としての成長や発展は期待できないのではないのでしょうか。たとえ都合の悪いことであっても、そこから目を背けず、真正面から自分のこととして捉え、自ら反省して、行動変革に踏み出すことこそが、「心の強さ」であり、他の6つの資質の向上にも繋がっていく最も重要な資質ではないかと思っています。

いずれ生徒達は卒業して、社会に出て様々な道を歩むこととなります。例えば就職した後、その企業が体系的にきちんと組織として人を育てるところもあれば、必ずしもそうでないところもあることでしょう。どちらにせよ、結局は自分自身が内省する意識を持ち、その姿勢を保ち続けられるのかによって、その人の社会人としての生き方、ひいては人としての生き方そのものが決まっていくことになると思っています。人にとって最大の財産は、内省できる資質・能力であり、自らの心の内にあるものではないかと考えています。

この「内省できる力」を筆頭に「7つの資質」を養うべく、130年の伝統校である神田女学園中学校高等学校の新しい教育ステージで日々努力を続けていきたいと思っております。

最後になりますが、ますます発展していく本学を支えていただきたく、切にお願いし、ご挨拶とさせていただきます。今後ともどうぞよろしくお願致します。

創立130周年を迎えて

教頭 上野 良雄



竹水会の皆様におかれましては、お変わりなくお健やかにお過ごしのこととお慶びを申し上げます。平素は学園へのご厚情を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、神田女学園の学園誌「竹水」(43号)を発行したのが今から5年前。その編集後記に5年後の「大きな教育改革」―「神田女学園創立130周年」―オリンピックの開催」などに思いを馳せた文章を載せさせていただき、いまは「教育改革」が進展し、本学園においては盛大に「創立130周年記念行事」が挙行され、世界の大イベント「東京オリンピック・パラリンピック」が華々しく開催されることは何の疑いもないことでした。その「教育改革」は中途半端な状態に陥り、現高校3年生は多くの負担を強いられました。まさか創立130周年記念行事が延期され、東京オリンピックが予定通り開催できないとは、想像すらしていないうことです。学校生活も大きく乱れ、生徒は3か月も学校に来られませんでした。新型コロナウイルス感染症という未知の災いによって、世界中が大きく変わってしまいました。このような社会情勢の中、改めて130年の学園の歴史を振り返る機会を得て感じることは、学園の危機や苦勞を幾度となく乗り越え、学園の発展に寄与された先達の教育に対する強い思いであります。初代校長、竹澤里先生の学園の創立や、学園を存続させるための想像を絶する艱難辛苦は学園関係者ならだれでも知るどころ、その後も生徒・父母・教職員が一体となって幾度も危機や困難を乗り越え、学園を維持発展させてこられました。長い歴史の中には、今回のコロナ禍とは比べ物にならないくらい苦難もたくさんあったかと改めて拝察いたします。

さて、神田女学園はこの先いつたどのような学校になっていくのだろうか、と未来を想像した時、一方でいつたどのような世の中になっているのだろうかと思わずにはいられません。今までは全く異なる生活様式が当たり前になっていくことも、何がどうなるのかも全く分からないこと、ますます複雑に絡み合っていく。そのような混沌とした時代の中でも、神田女学園が建学の精神に則り、今後も学園の持つ使命を果たしていくことは、これまでの歴史と伝統が保証しています。その使命のために提供し続けること。この時代において苦難を乗り越え、進展し続けた神田女学園の本領がますます発揮されるのではないかと、逆に期待も湧いてまいります。今後も竹水会の皆様のご期待に添えるよう、またこういつた歴史と伝統に恥じぬよう、生徒のため学園の発展のために、微力ながら教育活動に邁進してまいります。竹水会の皆様、引き続き学園へのお力添えを賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

竹水会会員の皆様へ

教頭 田中 聖秀



竹水会会員の皆様、母校である神田女学園に対し、常に温かいご理解とご支援を賜りありがとうございます。1890年の創立より130年目を迎える記念すべき本年度は、皆様ご存知通り今年で経験したことのない状況下でのスタートとなりました。例年であれば、新しい学年クラスでの生活に夢を膨らませる在校生と、これから始まる学校生活に大きな期待を持った新入生の初々しい姿が混じりあう4月となるはずだった校内には、生徒の姿はなく、

ひっそりと静まり返っていました。社会全体が先の見えない不安に包まれている中、本校では数年前から整えていたICT環境により、他校に先駆け4月中旬より自宅でのオンライン授業を開始しました。この教職員一丸となつた素早い学校の対応は、新入生をはじめ在校生、保護者の皆様に大きな安心感を与え、高い評価を頂くことができました。約2ヵ月間の休校を経て6月に学校が再開された時、登校する生徒達の元気な姿に、これほど励まされ勇気づけられたことはありませんでした。学校にとつて記念すべき年に、改めて自分が携わっている「教育」の大切さと「生徒に対する責任」の重さを再認識いたしました。都内でも有数の伝統校である神田女学園ですが、現在は12名のネイティブ教員の指導の下、英語のみならず中国語・韓国語・フランス語の授業に代表されるグローバル教育にも力を入れている注目を浴びています。それに合わせて卒業生のお嬢様をお迎えする機会も非常に多くなってまいりました。受験の際には学園関係者としての優遇制度もご用意しております。私学として長く大切にしてきた伝統を守りながらも、これからの新しい時代に活躍できる女性の育成に、今後も全力で取り組んでいきたいと考えております。最後になりましたが、竹水会会員の皆様のご健康と、会の益々のご発展を心より祈念しております。

会長着任のご挨拶 竹内 喜代美



記念すべき神田女学園創立130周年を迎え、竹水会のみならず心からお慶び申し上げます。母校は、明治23年仲猿樂町に「神田高等女学校」として設立されました。初代校長である竹澤里先生は教育の目標、「目的一貫」「敵を愛せ」

を唱えられ、建学の精神である「質素堅実な淑女の育成」にご尽力されました。その後時代の流れと共に校訓「誠・愛・勤・朗」となりました。後に、校長になられた小熊又三先生は、「誠愛勤朗」の四徳を一言に言い表すと、論語中の孔子のことは「恕」(思いやりの心)であると要約されました。それが「恕」の精神であると説かれました。以後今日まで、初代校長竹澤里先生の女子教育の理想と、小熊又三先生の恕の精神、教育の理念は130年の長きにわたって多くの諸先生のご指導と卒業生、在校生によつて、大切に受けつがれてまいりました。多様化の時代といわれる今、「恕」の精神は心の基本であり、大事な教養ではないでしょうか。その大切な教えと共に、この度、竹水会会長として8年間にわたりご尽力される、私の中学・高校時代の恩師でもある伊原三枝子様より竹水会会長を受継ぎ務めさせていただきます。共に竹水会の皆様、また高橋順子理事長・14代学校長宗像論先生、諸先生のご支援・ご協力を頂きながら精一杯力を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。未だ終わりの見えないコロナ禍、母校、竹水会は勿論のこと、皆様も大変な思いをされていることでしょう。自粛中には母校のホームページなど覗いて頂ければと思います。そして、同期会・ホームカミングデイ開催時には皆様お誘いの上、多数ご出席ください。進化と更なる歴史を重ねていく母校の発展と皆様のご健康とご活躍を祈念申し上げます。

2020年度(令和2年) 竹水会 常任幹事役員一覽

- 会長 昭和55年卒業 竹内 喜代美
- 副会長 昭和42年卒業 山口 恵美子
- 副会長 昭和57年卒業 大野 由加里

- 副会長 平成2年卒業 竹中 敬子
- 会計監事 昭和54年卒業 小花 由香
- 会計監事 昭和59年卒業 山口 佳江
- 会計監事 昭和58年卒業 三田 良子
- 相談役 昭和62年卒業 黒田 優子
- 相談役 昭和42年卒業 宇佐美 悦子
- 顧問 昭和29年卒業 伊原 三枝子
- 顧問 佐藤 悦子

新学年幹事のみなさんです

2020年3月6日(金)に竹水会入会式が挙行され、71名の新会員をお迎えしました。阿部碧さん(代表幹事)をはじめ8名の新幹事が誕生しました。



よくしす お願いす  
B組 (後列) 川口桃佳、今野日南子  
B組 阿部 碧、田村みこ (会計)

平成30年度収支決算書ならびに平成31年度収支予算書		平成30年度実績		平成31年度予算	
科目	金額	金額	金額	金額	備考
前年度繰越金	5,631,839	5,631,839	5,780,182		三菱UFJ銀行神保町支店 他
入金金・通信費	1,785,000	1,767,500	1,242,500		卒業生入金金・通信費(102名)(101名)
通信費(窓口分)	2,000	2,000			預金利息
寄附利息	100	43	50		
寄付金	10,000	0	10,000		寄付金(郵便局113,879円別)
雑収入	5,000	14,847	5,000		文化販売上金 他
合計	7,633,939	7,616,229	7,039,732		
総当り費用	1,800,000	1,178,467	1,400,000		作成印刷・郵送・タクシー代 他
総当り費用	5,000	1,166	5,000		年1回開催・用紙代
文化振興助金	300,000	284,852	300,000		文化祭参加運営費(クッキー・団子・書籍他)
入会式費	150,000	115,453	150,000		入会記念品代・用紙代 他
通信費	100,000	14,099	100,000		常任役員会会議費・郵送料 他
費用	350,000	242,010	350,000		警察大以上出陣祝儀・送電・送電交際費・印刷費等
記念事業等繰入金	0	0	0		
次年度繰越金	4,908,939	5,780,182	4,734,732		三菱UFJ銀行神保町支店 他
合計	7,633,939	7,616,229	7,039,732		

記念事業等積立金現在高(定期預金・普通預金・郵便局合) 33,321,162円



# お知らせ

## 体育祭

日時 2020年11月4日(水)  
場所 駒沢体育館

## 文化祭について

新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を鑑みて誠に勝手ながら学内の生徒のみの開催となりました。  
毎年、大勢のご来場をいただいております卒業生の皆様のご入場は中止となりました。

## 同窓会総会について

今年度は中止となりました。

## 総会の承認について

2020年度総会が中止になりました。議事につきましては左記の議案について、特別措置を取らせていただきました。

- 2020年3月6日常任幹事会において
- ・2019年度会務年度報告
- ・2020年度会務計画(案)
- ・新役員(案)

2020年7月25日実施の会計監査において

- ・2019年度決算
  - ・2020年度予算(案)
- について会計監査・副会長・会長の監査をもってすべての議案が成立とさせていただきます。

今年度は非常事態下での措置につき、皆様のご理解・ご承認をお願いいたします。

## 長唄演奏会

長唄・日吉小左衛門先生出演  
日吉会『道』  
今年度は中止となりました。

## 箏曲演奏会

箏曲・宮下秀冽先生出演  
今年度は中止となりました。

## タカラジエノヌ

宝塚歌劇団 花組 瀬戸 かずや  
公演内容 東京宝塚劇場 花組出演  
期 間 10月10日～11月15日  
演 目 「はいからさんが通る」

## ホームカミングデー

2019年10月26日(土)実施  
第一部は宗像校長先生から学校の様子などお話を頂きました。  
第二部は学年を超えて幅広い年代の方々との親交を深めました。



## 同期会のご案内について

今年度の同期会開催は中止にさせていただきます。来年度に4学年同日ホームカミングデーとして学校にて開催を予定いたしております。該当学年の皆様のご参加をお待ちしております。詳細が決定次第、お知らせいたします。

- 2020年度該当学年
- 平成13年3月卒業 第53回卒業生
- 学年主任・武笠大輝先生
- 平成28年3月卒業 第68回卒業生
- 学年主任・高田達明先生
- 2021年度該当学年
- 平成14年3月卒業 第54回卒業生
- 学年主任・永長雅邦先生
- 平成29年3月卒業 第69回卒業生
- 学年主任・坂ノ下祐子先生

## 頑張っています！後輩

高校ソフトボール部  
第62回東京私立学校女子ソフトボール選手権大会  
第3位  
開催日8/9(日)～8/18(火)



中学ソフトボール部  
第41回全国中学校体育大会  
全国大会優勝  
2019・8/20～8/24  
和歌山県紀の川市粉河



2020.3.6  
ソフトボール部への  
お祝い金贈呈式



## 輝く同窓生(教育実習)

池田 吏穂子  
城西大学 経営学部  
マネジメント総合学科



新型コロナウイルスで大変な時期に教育実習をさせていただきありがとうございます。貴重な体験が出来ました。教師の大変さが改めて分かりました。2週間ありがとうございました。

岩佐 美歩  
城西大学 経営学部  
マネジメント総合学科



コロナのため生徒と余り接することが出来なかったのが残念ですが、オンライン授業など体験出来ないことを体験させて頂きとても勉強になりました。沢山の先生方に指導して頂き神田の温かさをまた感じることが出来充実した実習になりました。

遠藤 光姫  
城西大学 経営学部  
マネジメント総合学科



新型コロナウイルスの影響で前代未聞の実習でしたが受け入れて下さりありがとうございました。教育実習を終えて実際に授業をしてとても大変なことが分かりました。今後、学校での経験を踏まえ頑張っていきたいと思っております。貴重な時間をありがとうございました。

永野 川 彩  
城西大学 経営学部  
マネジメント総合学科



今回教育実習を行って人に教える難しさや生徒との関わり方を学びました。またHRを担当させて頂いたことにより順序をどう立て

るのか、臨機応変に対応するためには予測することの必要性を感じました。今回、学べたことはこれから必要になると思うので今後も活かしていきたいと思います。2週間ありがとうございました。

阿部 由梨絵  
日本女子体育大学 体育学部  
運動科学科 スポーツ科学専攻  
保健体育



とても大変な時期にも関わらず、先生方にも生徒さんたちにもうけられていただき貴重な経験をすることが出来ました。ありがとうございました。

佐藤 由衣  
日本女子体育大学 体育学部  
スポーツ健康学科 健康スポーツ専攻  
保健体育



新型コロナウイルスの影響で前代未聞の教育実習でしたが、先生方も生徒さんたちも受け入れて下さり、とても貴重な経験をすることが出来ました。ありがとうございました。

鈴木 ひかる  
東京女子体育大学 体育学部  
体育学科 保健体育



お忙しい中、教育実習を受け入れて下さりありがとうございました。母校で沢山の事を学べてとても貴重な3週間になりました。この経験を活かして大学でも頑張ります。3週間本当にありがとうございました。

谷野 桜子  
順天堂大学 国際教養学部  
国際教養学科 英語  
(高大連携校)



今年度はコロナ禍での教育実習となった為、特別に「竹水会」よりお花の贈呈となりました。



# 神田女学園 に行ってみよう!!

## 高校 教育内容説明会

2020年	10月10日	土	14:00~
	10月31日	土	14:00~
	11月 7日	土	10:00~
	11月15日	日	10:00~
	11月21日	土	14:00~
	12月 5日	土	14:00~(個別相談会)
	12月20日	日	10:00~
2021年	1月 9日	土	10:00~

## 中学 教育内容説明会

2020年	10月17日	土	14:00~
	11月 8日	日	9:00~
	11月28日	土	10:00~
	12月19日	土	14:00~
2021年	1月10日	日	9:25~
	1月16日	土	10:00~
	1月24日	日	9:00~
	3月13日	土	10:00~

## 高校 文化祭

10月 3日	土	) 予約制
10月 4日	日	

※同時オンライン説明会実施中  
 ※説明会・イベントへの参加申込は学校説明会申込みサイトからの予約制となります  
<https://www.kandajogakuen.ed.jp/>

※入試に関する個別相談や学校見学等のお問い合わせは入試広報へご連絡ください。  
 ※学園関係の子女には優遇制度がございます。お問い合わせください。

☎ 03-6383-3751

みなさんの参加をお待ちしています!



URL  
<https://www.kandajogakuen.ed.jp/chikusukai/>



9月にリニューアルいたしました。竹水会ホームページについて

### ● ご協力をお願いします

#### 通信費について

母校と同窓会、同窓会と会員一人一人を結ぶパイプ役として「通信」の内容の充実をはかり、更なる絆を深めて参りたいと存じます。どうぞご協力お願いいたします。金額 2,000円(2020年~2025年までの5年分) 郵便局からご送金ください。(振込手数料は別途必要となります。)

#### 00100-9-545521 神田女学園 竹水会

※振替用紙の通信欄に必ず『会員番号、卒業年、クラス、担任名、旧姓』をご記入ください。会員番号はラベル氏名下の数字を記入。

#### ☆住所等変更

住所・氏名等の変更がございましたら卒業年、卒業時クラス、旧姓等を記入の上、変更事項を郵便・FAX・メールのいずれかでご連絡下さい。

#### ☆名簿業者についての注意

当同窓会は全く関与しておりません。(インターネット上の同窓生伝言板も関与しておりません)

#### ＝お気をつけて下さい＝

同窓会では個人情報保護法に基づき名簿の発行の予定は現在ではございません。

#### ☆「輝く同窓生」

同窓生の活動やお店などをご紹介します。自薦・他薦問いません。

FAX 03 (3233) 1890・メール [chikusui@kandajogakuen.ed.jp](mailto:chikusui@kandajogakuen.ed.jp) まで情報をお寄せ下さい。

☆同期会、クラス会を開催された方はご一報下さい。  
 母校130周年を祝しご寄稿をお願いします。